



お元気ですか！ 志村 たかよし です

第578号 2012年2月12日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

2012年度中央区一般会計予算の規模は790億円

学校改築・改修に65億円、市街地再開発事業に49億円、区施設の改修に26億円…

2月28日から第1回定例会。「区民の立場」でぞみます

このほど、区は、来年度の予算案を発表しました。

今回の予算は「都心から日本を元気に」「安全安心で世界に魅力を発信」をテーマに編成したとしています。

一般会計予算は、789億6988万8千円で、今年度より12%の増となっています。

この予算が何に使われているかが重要ですが、目立つのが建設工事・施設関係の経費です。

その主なものは、

- ・市街地再開発事業…49億円
- ・中央小、明石小、明正小などの学校改築…約65億円
- ・「マイホームはるみ」等複合施設の改修…約11億円
- ・ヴィラ本栖の改修…約10億円
- ・中央会館「銀座プロッサム」の改修…1億円
- ・公園・児童遊園の改修…2億円
- ・橋梁の整備…7億円
- ・新月島川の護岸整備…1億円
- ・街路樹環境の整備…1億円

すべての区内建物の耐震性総点検はじまる

この2月から、区内すべての住宅などの建物にたいして、専門家の目で「外観目視」による耐震性の点検をおこなうことになりました。

耐震化の助言をすることになっています。今年度は、築地1丁目～7丁目の建築物を点検します。

また、「耐震化に関するセミナー」を2月25日(土)午後1時半～4時、区役所8階大会議室で開催します。

今年4月からは毎週土曜日に専門家による耐震化相談窓口を開設する予定です。

- ・日本橋船着場の整備…1億円
- ・勝どき5丁目高齢者施設等の整備…13億円
- ・十思スクエア地域密着型特別養護老人ホーム…約6億円
- ・住宅・建築物の耐震化助成…10億円

円発行するとしています。

また、築地市場「移転」を前提とした「築地場外市場地区の活気とにぎわいの継承」のために1億6千万円を計上しています。

2月28日から3月29日の期間で第1回定例会が開かれ、予算の審議がされます。貴重な税金が無駄遣いされていないか、区民のために有効に使われているか、しっかりとチェックし、区民の立場に立った積極的な提案をしていきます。

「東京湾大華火祭」実行委員会で 大華火祭の抜本的見直しを要求

2月2日、平成23年度東京湾大華火祭実行委員会（会長は古屋勝彦中央区観光協会会長）が区役所内で開催されました。

実行委員会では、東日本大震災のため開催を見送った今年度（昨年）の大華火祭についての報告とともに、来年度（今年）

の大華火祭を8月11日に開催する旨の提案がありました。

花火中止でも

不都合は起きず

日本共産党区議団を代表して出席した私（志村）は、「昨年、

花火の予算でこんなにできた！

大華火祭を中止して実現した施策（6月補正予算より）
◎花火中止によって生まれた財源…2億5192万7千円

- ★マンション防災対策事故点検調査支援（8百万円）
- ★区内事業所の震災時の対応等調査（5百万円）
- ★防災資器材備蓄の充実（4280万5千円）
- ★東日本大震災被災地への支援（4031万8千円）
- ★放射線環境測定調査（478万8千円）
- ★観光商業まつり（1738万7千円）
- ★区内共通飲食券事業補助（7039万9千円）
- ★復興支援イベント補助（3千万円）
- ★築地場外市場地区における被災地復興支援事業に対する助成（1869万4千円）
- ★障害児一時預かり事業の実施（1629万5千円）

大華火祭を中止して不都合は起きたのか」

「議会では毎年行わないとノウハウが継承できないと答弁していたが、その点どうなのか」と、まず確認をしました。

区の担当者は「早めの中止なので関係機関に影響はなく不都合は生まれなかった」

「1年あいたが、昨年のうちから早めの準備をしているので大丈夫」というものでした。

抜本的な見直しを要求

私は、以上二つの点を確認したうえで、「大華火祭の経済的効果は広域的に高いことは認識しているが、区内全域にわたっているとは言えない、なのに、他区の警備まで中央区が持つなど、大華火祭は3億円をこえる中央区の財政負担が中心となっている。このままでいいのか、

これまでのとりくみを検討する時期に来ているのではないか」

「区の答弁からも一年おきに開催しても支障がないことがわかった。当面、一年おき、隔年実施として、その間に、東京湾大華火祭の位置づけ、実行委員会のあり方などの抜本的な見直しが必要だ」と指摘しました。

さらに、大華火祭中止で生まれた財源2億5千万円を活用した昨年の6月補正予算の内容（別掲）を紹介し、「実施しない年は区民の喜ぶ施策に花火の予算を回すことができる」

「党区議団実施の区民アンケートでも中止と隔年実施が6割、7割。区民の意見も考慮した再検討をすべき」と見直しを求めました。

なお、実行委員会の発言者は、私ひとりでした。

その後、来年度の実施を拍手で確認し、「拍手多数」で実施が決まりました。

「意見、」要望など、お気軽に「」連絡ください(cw00010000)